

知事の台湾訪問の主な内容

11月7日（金曜日）

① 台北国際旅行博（ITF）オープニングセレモニー参加

今年で22回目を迎える台北国際旅行博（ITF2014）は、台北市の台北世界貿易センターにて平成26年11月7日（金）から10日（月）にかけて開催されます。30万人以上が来場する台湾で最大の旅行博覧会であり、今年は過去最高の32万人の人出と60か国からの出展が見込まれています。

このオープニングセレモニーに、日本代表として公益財団法人交流協会台北事務所副代表とともに参加し、栄誉あるテープカットを行います。

今回の知事の台北国際旅行博オープニングセレモニーへの参加により、三重県トップとしての台湾での存在感を示すとともに、台湾観光局長、台湾観光協会会長を始めとする台湾観光関係者との関係をさらに強化することにより、三重県と台湾との観光交流をさらに深化させます。

② チャイナエアライン社長との昼食交流会

平成25年10月の知事、平成26年2月の石垣副知事による孫洪祥（そん こうしょう）会長へのトップセールスにおいて、同社の台北ー中部便の増便を依頼してきたところですが、平成26年10月29日より週13便から14便（1日2便）に増便されました。

一方、同社は高雄ー成田及び関空便も増便しており、台湾南部から日本への旺盛な観光需要を中部地域への取り込むためには、平成24年3月に運休となった高雄ー中部便の復活が不可欠であるといえます。また、高雄市内に鈴鹿サーキットパークが建設中であり、三重県の知名度向上の好機であることから、同路線再開に向けた要望を行います。

③ 台北国際旅行博（ITF）メインステージ出演

台北国際旅行博には、メインステージが設けられ、世界各国の出展者によるパフォーマンスによるPRが行われます。

今回、同ステージの出演枠を確保できたことから、三重県観光のPRを実施します。特に台湾においては、平成25年11月にNHKドラマ「あまちゃん」が放映され、海女への認知度が上がっていること、また、一部旅行会社が海女小屋での昼食を組み込んだツアーを販売していることから、知事が志摩市のゆるキャラ「しまこさん」（※1）及び志摩市の海女である三橋まゆみさん（※2）と、三重県の海女についてのPRを行う予定です。

なお、メディアや来場者の注目を高めるため、台湾でライブ活動を展開して売り出し中のアイドルグループ「ALLOVER」（※3）の楽曲パフォーマンスとのコラボステージとします。ALLOVERは自治体等のゆるキャラとのコラボソングの制作・販売実績があり、今回のコラボステージを契機に、「しまこさん」とのコラボソング制作を進め、台湾での三重県PRに活用します。

※1 「しまこさん」

旧志摩町のキャラクターとしてデザインされ、平成26年10月の志摩市合併10周年を記念して着ぐるみが制作、発表されました。

※2 三橋まゆみさん

海女保存会会長を務めるベテラン海女さん。

※3 ALLOVER

アキバ文化を調査・発表するために複数のアイドルグループまたはソロ活動しているアイドルから選抜され、2012年に結成されたアイドルプロジェクト。現在のメンバーは24名（2014年8月現在）。最近では、各地域（目黒区全体、自由が丘、

北茨城、千葉県など)やイベント・商品などの PR を限定課外調査と題しての活動も行っています。

④ 新北市副市長との面談

平成 25 年 10 月 21 日に三重県観光・国際局長と新北市観光旅遊局長との間で観光協定(「日本三重県と台湾新北市との観光についての交流・協力に関する協定書」)を締結してから 1 年を迎えます。

これまで、観光ホームページの相互リンクによる観光資源紹介、昨年の台北国際旅行博(ITF2013)展示ブースにおける観光情報提供などの相互協力、新北市 3 大祭りである平溪国際天灯祭り(※)への三重県観光・国際局長の参加・ブース出展などを通じて観光交流・協力を深めてきました。

今後、観光協定締結 1 周年記念行事として、平成 27 年 2 月に開催される平溪国際天灯祭りへの三重県民ツアーの派遣などを予定しているところです。今回、三重県知事が新北市副市長と面談し、さらなる観光交流・協力について意見交換を行います。

※ 平溪国際天灯祭り

新北市の 3 大祭りの一つでランタンを一斉に夜空に飛ばす祭りです。毎年数 10 万人が訪れると言われ、旧暦 1 月 15 日(小正月)と前後の週の 3 日間にかけて新北市東部の山里、平溪郷で行われます。2013 年には、世界最大の旅行観光情報出版社フォーダーズ・トラベルがウェブサイトで発表した「死ぬまでに参加すべき 15 の祭り」の一つに選出されました。

⑤ 台湾經濟部工業局長、TJPO 執行長、市政府経済発展局幹部等との意見交換

平成 24 年 7 月に「産業連携に関する覚書」(MOU)を締結した台日産業連携推進オフィス(TJPO)の上位機関にあたる經濟部工業局長と面談し、産業連携の幅広い分野への展開について意見交換を行うとともに、知事と工業局長の立会いのもと、三重県雇用経済企画総括監と TJPO 執行長が「台湾と三重県の産業連携推進プラン」に署名します。なお、MOU の内容をさらに一步具体化し、TJPO との間で連携方法やスケジュールを書き込んだ推進プランを策定するのは、三重県が全国初です。

また、TJPO 執行長と面談し、これまでに構築した信頼関係を再確認し、今後の連携関係の強化につなげます。

さらに、市政府(新北市、高雄市)経済発展局や経済団体など台湾企業のニーズや課題をよく知る経済界の幹部と意見交換を行うことで、産業連携の「すそ野」と「分野」の広がりが必要な新しいネットワークを構築します。

⑥ 台湾観光局長との夕食交流会

三重県と台湾との観光交流については、これまで、日台観光サミットの開催(平成 25 年 5 月)、新北市との観光交流協定締結(平成 25 年 10 月)、新北市平溪国際天灯祭りへの参加・出展(平成 26 年 2 月)、台湾ランタンフェスティバルへの出展(平成 26 年 2 月)などの実績が評価され、平成 26 年 2 月に台湾交通部観光局から「2014 台湾観光貢献賞」を受賞しており、これら取組の結果、台湾から三重県への延べ宿泊者数は平成 25 年に過去最高の 28,740 人(平成 24 年比 54%増)を記録しました。

これら取組を一過性のものとせず今後さらに発展させるため、台湾観光局長を始めとする台湾観光関係者との関係をさらに強化することにより、三重県と台湾との観光交流をさらに深化させます。

● その他

JA グループ三重と台湾農会による食文化交流会

日時：11月7日（金曜日）15時30分～17時30分

場所：台湾農会本部ビル（台中市）

概要：三重県農業協同組合中央会・各連合会会長他が交流関係の構築等のため、台湾農会本部を訪問します。また、両地域を代表する農産物である「お茶」をテーマにした「親善茶会」の開催や双方の農産物・加工品等の紹介・試食を行います。県単位の JA グループと台湾農会との交流は、全国で初めてとなります。

交流会では、知事のビデオメッセージを上映するほか農林水産部長他が出席します。

※ 上記「JA グループ三重と台湾農会による食文化交流会」に関するお問い合わせについては、以下までお願いします。

農林水産部フードイノベーション課 電話 059-224-2391 担当 矢野、伊藤

11月8日（土曜日）

① 三井林口アウトレットパーク建設地視察

三井不動産は三重県内において三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島を運営しています。2015年下半期に開業予定の新北市の林口アウトレットパークは、同社による台湾での初の事業であり、約200店舗を誘致予定であることに加え、シネマコンプレックスやスーパーマーケット、多様な飲食店舗など周辺居住者から観光客までの幅広い客層・ニーズに応える商業施設を目指すとしています。

三重県と観光協定を締結している新北市内での立地であり、また、三重県内に拠点を有する三井不動産による事業であることから、開業後の観光、物産等の情報発信等の連携を視野に入れた現場視察及び情報交換を行います。

② 五福旅行社幹部との昼食交流会

これまでは台湾の中心都市である台北市（新北市と合わせ人口660万人以上）を主なターゲットに三重県への誘客に取り組んできましたが、今後は、台湾第2の都市である高雄市（人口277万人）や第3の都市である台中市（人口269万人）からの誘客にも注力していくこととしています。

五福旅行社は高雄市に本社を置く台湾南部最大の旅行会社であり、平成25年は約1,600名と既に多くの台湾観光客を三重県に送客いただいています。平成24年7月の台北市での面談に続く今回の知事の訪問により同社との関係を強化し、さらなる誘客につなげます。

③ 鈴鹿サーキットパーク建設地視察

台湾の高雄市に2015年12月21日（月）開業予定の商業施設「大魯閣草衙道（TAROKO Park 高雄）」内に、鈴鹿サーキットの国際レーシングコースのレイアウトをイメージしたカートコースなどを備えた娯楽施設「SUZUKA CIRCUIT PARK」が建設中です。

2013年3月に株式会社モビリティランドが鈴鹿サーキットのモータースポーツ感謝デーにて本事業の日本発表を行った際には、商業施設を開発する台湾 TAROKO 代表、モビリティランド幹部、施設が立地する高雄市陳菊（ちん きく）市長、鈴鹿市長とともに、三重県知事も同席しました。

本施設は、台湾と三重県との交流・連携が様々な分野に、また台湾南部最大の都市である高雄市にも面的に広がっていることを示すものです。今後、高雄市からも誘客に向けた

取組に注力していくこととしており、開業後の観光、物産等の情報発信等の連携を視野に入れた現場視察及び情報交換を行います。

④ 台中市旅行商業組合との夕食交流会

台湾における三重県への誘客については、今後、台中市・高雄市等、台湾中南部からの誘客にも注力していくこととしています。

台中市においては、台中市旅行商業組合（約 300 社により構成（支店含む））が他地域の組合に比べて強いまとまりがあります。また、毎年 10 月に台中旅行博（TTF）を開催していることから、三重県としても観光 PR 及び同組合との関係強化を目的に、旅行博への出展を実施しています。

このため、今回の知事と旅行商業組合関係者との会食・懇談を実施することにより、新たな旅行商品の造成に向けたさらなる関係の強化と、三重県への送客の増加を図ります。